

令和 3 年度 学校経営計画表

1 学校の現況

学校番号	4 3		学校名	波崎高等学校				課程	全日制 普通科 " 機械科 " 電気科 " 工業化学・情報科			学校長名	黒澤 義生			
教頭名	高橋 秀樹								事務(室)長名			荒張 明				
教職員数	教諭	34	養護教諭	1	常勤講師	8	非常勤講師	4	実習教諭、実習講師、実習助手	9	事務職員	4	技術職員等	4	計	64
生徒数	小学科	1年		2年		3年		4年		合計		合計クラス数				
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女					
	普通科	13	46	28	51	21	50			62	147		6			
	機械科	34	0	39	1	39	0			112	1		3			
	電気科	31	0	36	1	22	0			89	1		3			
工業化学・情報科	35	5	30	11	25	12			90	28		3				

2 目指す学校像

- ・互いを思いやり、助け合える強いチーム（教職員組織）を目指す。
- ・生徒、保護者、地域の信頼に応え、生徒の夢や希望を実現できる学校を目指すとともに、地域を愛し、地域に貢献する人材育成を目指す。
- ・学習活動や部活動、HR活動等の学校生活をとおして、心身ともに健やかな社会人としての資質、素養を兼ね備えた人材育成を目指す。

3 現状分析と課題（数量的な分析を含む。）

項目	現状分析	課題
学習指導	習慣的な学習態度が定着しつつあり、基礎学力の向上が見られる。家庭学習の習慣のない生徒に対しての対策が必要である。	授業効果の向上と家庭学習習慣定着のために、アクティブ・ラーニング的展開、ICT機器を活用した授業の研究が必要である。効果的な課題の出し方を組織的に工夫する必要がある。
生徒指導	基本的な生活習慣の確立と生活安全教育の推進を主に、校内の環境整備を充実させる。	進路を考え、あいさつ（マナーアップ）、時間厳守、メモの活用、特に交通安全、情報機器利用を身につける必要がある。いじめ未然防止対策を継続する。
進路指導	キャリア教育の取り組みを継続し、多様なニーズに対応できる進路指導の実施が必要である。	自己成長力の向上を目指し、体系的で多様なキャリア教育プログラムを構築し、早期に順次指導を推進する。
特別活動	生徒会活動・学校行事等の活性化、健全育成指導及び広報活動の充実が望まれる。	生徒の自主的な諸活動への取り組みが必要である。本校の諸活動を積極的な広報により内外へ発信する必要がある。また、フォーサイト手帳（キャリアパスポート）を活用し学びのプロセスを振り返る機会を増やす。
働き方改革	働き方改革を推進し、職員の資質、健康の向上を図る。	業務が多岐にわたり就業時間に業務が終わらない実態がある。業務の精選、分担、環境整備を行う必要がある。

4 中期的目標

1	創意ある学習指導により、基礎・基本の定着と能動的な学習姿勢の確立を図る。
2	生徒たちが安全に且つ安心して生活できる学校環境づくりを徹底する。
3	魅力ある教育課程の編成により、地域社会の信頼と期待に応える。
4	部活動の活性化により、文武両面に秀でた活力ある学校を目指す。
5	校舎内外の美化と衛生的環境づくりを実践する。
6	働き方改革を推進し、超過勤務時間を短縮する。

5 本年度の重点目標

重点項目	重点目標
【学習指導の充実・強化】 分かり易い授業展開を通して、一人一人の自ら学ぶ意欲を高め、基礎学力の向上を図る。	①公開授業や教科指導に関する校内研修を定期的（年2回）に実施し、学習内容等の精選に努め、創意ある授業を展開する。 ②家庭学習の習慣化を図るため課題を与えるなどして、学力を向上させる。 ③英検・漢検等の資格試験の受験者・合格者を増加させる。
【生徒指導の充実・強化】 基本的な生活習慣を身に付けさせ、生徒の自立及び自律を図る。	④学校の教育活動全体を通して、基本的な生活習慣や規範意識を醸成する。 ⑤教職員全員の共通認識のもと、計画性のある校内生徒指導を定期的を実施することにより、高校生らしい生活態度を育てる。 ⑥外部講師による各種防止講話等を通じて、生徒の事故防止に努める。 ⑦家庭との緊密な連携により、問題行動やいじめ等の早期発見に努める。
【進路指導の充実】 1年次より体系的に進路指導を推進し、早期に進路目標を持たせ、生徒全員の進路実現を目指す。	⑧職業選択や自己実現のために、企業実習やガイダンスを通して、望ましい職業観や勤労観を養い、主体的に進路選択ができるようにする。 ⑨生徒との面談や保護者との緊密な連携により、効果的な進路指導ができるようにする。 ⑩将来に生きる実技系資格取得を奨励し、進路意識と主体的な学習態度を醸成する。
【健康安全指導の充実】 体育や部活動等のあらゆる機会を捉えて、心身ともに健康で情緒豊かな生徒の育成を図る。	⑪生徒に応じた指導体制の確立と、指導計画の工夫により、魅力ある部活動を実践する。 ⑫ボランティアや奉仕活動などの社会体験活動を積極的に推進する。 ⑬健康安全についての意識を高め、事故の未然防止に努める。
【その他活動の充実】 地域との連携を強化する。また、広報活動やPTA活動を通じて本校の魅力を積極的に発信する。 働き方改革を推進し、職員の資質、健康の向上を図る。 互いを思いやり助け合える強いチームを目指す。	⑭「社会に開かれた教育課程」の実現を目指し、地域との連携を強化する。 ⑮ホームページ、「学校便り」等を充実させ、最新情報を積極的に発信する。 ⑯保護者からの理解・協力を促進するため、教職員のPTA会合や行事への積極的な参加を図り、PTA相互の交流を深める。 ⑰働き方改革を推進し、教職員の資質・健康の向上を図る。 ⑱互いを思いやり助け合える強いチームを目指す。